

平成30年度 学校評価アンケート結果:保護者(平均)

愛媛県立みなら特別支援学校 学校評価委員会

No	領域	項目	評価項目	小学部	中学部	高等部	訪問教育	H30全体	H29全体
1	学習指導	教材・教具の充実	教員は、写真や絵、図などを活用して、視覚的に効果的な教材を作成している。	4.7	4.2	3.8	4.5	4.2	
2		教材・教具の充実	教員は、パソコンやデジタル機器（iPadやデジタルカメラなど）を活用して、視覚的に分かりやすい授業を行っている。	4.6	4.0	3.7	4.4	4.1	4.1
3		各教科等を含めた指導の充実	教員は、今まで培ってきた指導方法を生かしながら、新しいアイデアを取り入れて、魅力ある授業づくりを行っている。	4.7	4.1	3.8	4.5	4.1	
4	児童生徒指導	基本的な生活習慣の確立	教員は、児童生徒の発達段階や障がいの程度に応じた基本的な生活習慣を育成している。	4.7	4.2	4.0	4.4	4.2	
5		学校生活の充実	教員は、集団構成や活動の場を工夫することで、児童生徒一人一人の具体的な目標を明確にし、達成感を得られるようにしている。	4.7	4.2	4.0	4.6	4.3	
6	進路指導	進路指導の充実	教員は、児童生徒一人一人のニーズや保護者の願いに応じた進路支援に努めるとともに、合同説明会や施設事業所等見学、進路便りなどで、保護者への適切な情報提供を行っている。	4.5	4.1	4.1	4.2	4.2	
7		キャリア教育の推進	教員は、児童生徒が授業やその他様々な教育活動において、自分の役割を果たすように支援をしたり、自ら考えて行動するような場面を増やしたりして、将来に向けた自立を促そうと努力している。	4.6	4.2	4.1	4.2	4.2	
8	安全教育	学校安全教育の充実	教員は、防災学習や不審者対応、交通安全教室などを通して、児童生徒が、事故や災害から自分の命を守る手段や方法を具体的に教え、もしものときに行動できる態度を育成している。	4.6	4.2	4.0	4.0	4.2	4.2
9		安全な教育環境の整備	教員は、児童生徒が安全かつ安心して学習活動に取り組める教育環境の整備に努めている。	4.6	4.2	4.0	4.5	4.3	4.2
10	教育相談体制	人権・同和教育の充実	教員は、積極的に児童生徒に語り掛け、温かい目で日々観察することで児童生徒の僅かな変化やサインをキャッチしようとしている。	4.7	4.2	4.1	4.5	4.3	
11			教員は、児童生徒がお互いを認めて尊重し合い、学校が安心して生活できる場になるように努めている。	4.7	4.2	4.2	4.8	4.3	4.3
12		個別の教育支援計画の活用	担任は「個別の教育支援計画」の作成や評価において、お子様の支援目標や支援の手立てについて、分かりやすく説明や話し合いを行っている。	4.7	4.2	4.2	4.4	4.3	
13		センター的機能の充実	担任や特別支援教育コーディネーター等は、お子様の支援についての専門的な知識が豊富であり、安心して相談できる。	4.5	4.0	4.0	4.2	4.1	
14			学校のホームページは分かりやすく、必要な情報を適切に発信している。	4.3	3.8	3.7	3.8	3.9	